



# 第1481回例会

2025年8月19日(火) ホテルグランテラス帯広

## 会長挨拶

会長 L.清 野 芳 明



皆様、今晚は。 帯広平原ライオンズクラブ第1481回例会にご出席頂き有難うございます。 私が開会ゴングを打たせて頂くようになってから、はや2か月、任期の6分の1が過ぎようとしております。 もたもたしてはいられないので、前回の「会員拡大」に関する勉強会に続き、どうしても実施しなければならないもう一つの事柄として「LCIF」の勉強会を計画いたしました。固い内容が続きますがコーディネーター三谷L宜しく願いいたします。

さて後程、池田計画委員長から、音更LC様との合同パークゴルフ大会・焼肉懇親会の実施要項について説明があると思います。

その前にこの計画を立てるに至った経緯を簡単にお話いたします。

ここ数年かけて行ってきた SWOT分析のマイナス要因の中に

\*マンネリ化している。

\*横のつながりが無い

との文言が示されておりました。

同時に釧路キャビネットからも「他クラブとの交流、合同イベントを推奨する」とのお達しがあった事をうけ音更 LC 様にご提案させて頂いたところであります。焼肉懇親会もでございますので奮ってご参加頂ければ幸いです。

本日も宜しく願いいたします。

## 幹事報告

幹事 L.安 江 範 鎮



1) 先ほどLCIFについて勉強会が行われましたが、地区及びクラブシェアリング交付金について、申請可能額をお知らせ致します。現在、2,488,80ドルが申請可能額です。日本円150円とし換算すると、373,320円となりますのでご報告致します。

2) MJF、1,000ドル献金について報告致します。

メルビン・ジョーンズ・フェローシップ(MJF)は、LCIFを支える大きな柱であり、1,000ドル以上の寄付をして下さった方を表彰するものです。

此度この献金を、当クラブから、矢吹L、清野L、田邊Lより1,000ドル献金をして頂きました、クラブの皆様へご報告させて頂きますと共に、3名のライオンを誇りに思い、たたえさせて頂きます。誠にありがとうございました。

尚、3名のライオンは後日の例会にて、改めて、MJFの贈呈がありますのでよろしくお願い致します。

**2025年8月19日(火) ホテルグランテラス帯広**



## 勉強会「LCIFについて」

LCIF コーディネーター L.三谷 暁

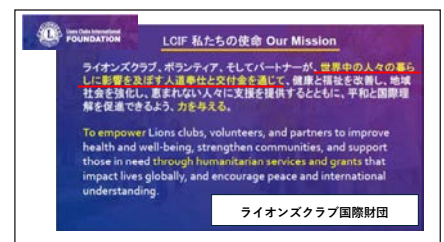


## 三谷 L が勉強会で使用した LCIF 関係資料

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 第3R 第2Z  
帯広平原ライオンズクラブ 第1481回 例会



帯広平原ライオンズクラブ LCIF コーディネーター L三谷 暁



健康と福祉  
の改善

ライオンズは意欲のある奉仕事業、とりわけ解決が急がれる重大なニーズへの取り組みを通じて、日々、地域・コミュニティに暮らす人々の健康と福祉の改善を推進しています。LCIFは、小児がん、糖尿病、視力保護等の分野で交付金を提供し、ライオンズやレオガが事業を支援し、世界中の何百万もの人々の生活に希望を届けます。

305-24地区のライオン会（以下寄付金13万、46,436人の義援金を提供、バネラスで視力に様々な困難を抱える何千人の人々を支援しました。この文書で、カイババ財団(Khyber Eye Foundation; KEF)は、1万572件の白内障手術を実施し、559名の視覚障害者820名の健康診断と薬品配布の活動を行いました。さらに、同財団は数回の眼科検診を行うフライングバス活動にも寄付金を提供し、およそ1万1千人の検診を行いました。KEFは毎年およそ5万4千人の外傷患者を治療していますが、フライングバスの取り組みを通じて、夜間に視覚を失えるより多くの人々に必要な医療を届けることが可能になっています。



世界各地のライオンズは、様々な方法で、小児がんと闘う家族を支援しています。ブラジルの都市リベラール・プレート(LC6地区)のライオンズは、療養用ホステルの増築にLCIF小児がん交付金を602ドルを活用しました。それに、地元の小児がん支援グループは1年間に支援できる小児がんの子ども約27名を数え、その家族も支援することが出来るようになりました。



## LCIFとは

ライオンズクラブ国際協会の公式慈善団体である  
ライオンズクラブ国際財団の事です。  
(Lions Clubs International Foundation)

地域社会及び世界社会奉仕に努める全世界のライオンズクラブを援助することを目的として、1968年に設立されました。

LCIFは、視力保護、災害救援、青少年支援、人道的一ズへの対応という4つの重点分野に対する交付金によってこの使命を達成します。

LCIFの資金は寄付金によります。その大部分は206カ国135万人のライオンズ会員からの献金です。運営は投資から得た収入で賄われているため、献金は全て支援を必要とする人々のために活用されます。



2011年度の実績では…  
東日本大震災に対して、大災害援助  
交付金として1250万ドルが交付さ  
れました。  
また、東日本大震災指定の寄付金は  
410万ドルありました。

## LCIF 献金の種類

大きく分けて個人の実績となる献金と、クラブの実績となる献金があります。

個人献金

・MJF (メルビン・ジョーンズ・フェロー)  
1,000ドルが1口となる個人献金です。  
ライオンズクラブ国際協会創設者のメルビン・ジョーンズの名をとっています。  
初回はラベルピン、種、及び賞状、2回目以降は献金額に応じたピンが贈られます。  
1,000ドルに満たない個人献金は、2016年6月1日・献金会員と統合され、  
全て分組MJFとなり、2018年8月よりライオンズ・サポート・プログラムへ移行いたします。  
ライオンズ・サポート・プログラムでは、金額に応じて、希望により  
サポーターピンが交付されます。(50ドル・100ドル・200ドル)



また、非会員・故人でも指定があれば献金者になります。  
累計で10万ドル以上の献金者は人道支援パートナーとなり、国際  
本館にある人道支援パートナー記念碑に名前が刻まれます。

クラブ献金

金額は問いません。特定の用途指定も可能です。  
1,000 ドル以上の献金に対しては、希望により揮、またはバナーパッチが贈られます。

上記に当てはまらない内容の場合、報告書に詳細を記入して献金して下さい。



# 第1481回例会

2025年8月19日(火) ホテルグランテラス帯広

## 例会スナップ



ライオンズの誓い上唄L



国家斉唱



8月誕生月祝福を受ける菊池Lと熊野L



司会 計画・出席委員長 池田L



ライオンズローア 田辺L



テーマー報告  
副テーマー・テールツイスター 西垣L



閉会ゴング 第62代会長三谷L